

【撮影に注意を要する項目にチェックがある場合】

- ・ 患者様の体内にあるものについては、あらかじめ紹介元医療機関から体内金属を挿入した施設に連絡を取り、MRI 対応であること確認して備考欄に記載してください。
体内金属が調べてもわからず、不明な場合は MRI 検査を行うことができません。体内金属がある患者への MRI 検査施行によって、死亡事故の事例もありますのでご理解のほどよろしく申し上げます。
- ・ 妊娠あり、閉所恐怖症あり、体内に金属片が残っている可能性がある患者様の場合は、患者様にリスクとベネフィットを説明し撮影の了承を得てください。ただし、了承済でも当院の医師の判断で中止になる可能性があります。
なお、妊娠中の患者様への造影 MRI 検査は、当院規定により行うことができません。
- ・ 条件付 MRI 対応心臓デバイス、条件付 MRI 対応神経刺激装置が入っている患者様は、事前に検査を行うための条件を満たす必要があります。
心臓デバイスは当院の循環器科医師による診察と、MRI 検査直前に臨床工学技士による設定変更が必要です。
神経刺激装置は当院の麻酔科医師による診察と、MRI 検査直前に患者か家族による装置電源 OFF 操作が必要です。
条件を満たすため、来院する日が複数回になること、診察内容や検査部位によっては検査不可となる可能性があること、検査予約日時に制限がかかる可能性があることを依頼医、患者双方が理解したうえで紹介してください。
詳しくは八戸赤十字病院、放射線技術課にお問い合わせください。